

機械設備工事仕様書

(I) 工事概要

1. 工事場所 鳥取市東町

2. 建物概要

番号	建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	消防法令別表	備考
1	住居	木造	2	125.96	()項	
2					()項	
3					()項	
4					()項	
5					()項	

3. 工事種目 (○印を適用する。)

工事種別	建物番号	1	2	3	4	5	屋外	備考
衛生器具設備	○							
給水設備	○							
排水設備	○							
消火設備								
給湯設備	○							
浄化槽設備								
ガス設備	○							
空調設備								
冷暖房設備								
換気設備	○							
排煙設備								
自動制御設備								

4. 設備概要 (○印を適用する。)

衛生設備	給水設備	給水方式	○ 水道直結 ● 高地水櫃 ● 加圧給水
		水源	○ 水道水 ● 井水
排水設備	放流先	汚水	○ 公共下水道 ● 浄化槽
		雑排水	○ 公共下水道 ● 側溝 ● 河川 ● 浄化槽
		雨水	○ 公共下水道 ● 側溝 ● 河川
消火設備	浄化槽処理種別	単独	● 単独 ● 小規模合併 ● 合併
		処理水放流先	● 排水路 ● 側溝 ● 河川
給湯設備	局所式(○)ガス	油	● 油 ● ガス
		中央式(●)ガス	● 油 ● ガス
ガス設備	都市ガス(4,500Kcal/m ³)	液化石油ガス	● 液化石油ガス
		全空気方式(●)単一ダクト	● 単一ダクト ● 二重ダクト ● ダクト併用ファンコイルユニット ● ファンコイルユニット ● ヒートポンプパッケージ(● 個別 ● マルチ)
冷暖房設備	暖房設備	温水暖房	● 温水暖房 ● 蒸気暖房 ● 温風暖房(● 局所 ● 中央) ● 床暖房
		冷房設備	● エアコン
換気設備	燃料	電気	● 電気 ● 灯油 ● A重油 ● ガス
		ボイラ(● 鋼製 ● 鋳鉄製 ● 真空式 ● 無圧開放式)	
主要熱源機器	冷熱機	往復動式	● 往復動式 ● 遠心式 ● 吸収式
		直置き吸収式冷水機	● 直置き吸収式冷水機 ● 小形吸収冷水機ユニット
換気設備	第一種	第二種	● 第一種 ● 第二種 ● 第三種
		第三種	
自動制御設備	電気式	● 電気式 ● 電子式 ● 空気式 ● デジタル式	

(II) 工事仕様

1. 共通仕様

図面・特記仕様書及び現場説明書に記載されていない事項は、建設大臣官庁官庁管轄部の機械設備工事共通仕様書(平成5年版)(以下「共通仕様書」という。)& 及び機械設備工事標準図(平成5年版)(以下「標準図」という。)

2. 特記仕様

- 項目は番号に○印のついたものを適用する。
- 特記事項のうち選択する項目は◎印のついたものを適用する。ただし、◎印のない場合は※印を適用する。
◎印と○印のついたものは、両方を適用する。
- 一般共通事項のうち7.8.9.10.12 項は、◎ 建築 ● 電気設備工事仕様書による。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 主任技術者等の資格	工事現場における主任技術者は、工事請負契約書に規定する主任技術者又は監理技術者をいう。 主任技術者、監理技術者はつきに掲げる資格を有する者とする。 ● 資格の区分Ⅰ ● 資格の区分Ⅱ ◎ 適用しない
	2. 電気保安技術者	工事現場における電気保安技術者は、鳥取県土木部管轄工事自家用電気工作物保安規定第5条に定める工事担当者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行う。
	3. 技能士の摘要	資格と種類 ● 配管施工(建築配管作業)(● 1級 ● 2級) ● 熱絶縁施工(● 1級 ● 2級) ● 冷凍空調機器施工(● 1級 ● 2級) ● 建築板金作業(● 1級 ● 2級)
	④ 官公署その他への手続等	工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続、検査並びにその費用は、本工事請負者の負担とする。
	⑤ 機材	本工事に使用する機材等は、「Ⅲ 機材」によるほか同等品以上とする。 ただし、同等品以上とする場合は監督員の承諾を受けること。
	⑥ 図形表示	機器等は、図示する形状及び配管などの取付位置により、特定製造者の製品を指示限定しない。
	7. 発生材の処理	● 引渡ししない(自由処分) ● 引渡す() 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ● 有り
	8. 工費用電力、水、その他	本工事に必要な工費用電力、水、その他工事に必要な費用及び手続はすべて請負者の負担とする。
	9. 工費用仮設建物	構内に設置 ● 出来る ◎ 出来ない
	10. 部分引き渡し	工事の完成に先だって引渡しをする部分有り。(指定部分)
	⑪ 補修など	工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない補修する。
	12. 火災保険等	● 加入する(加入期限は、引渡しまでとする。) ● 加入しない
	⑬ 施工計画書	工事の着工に先立ち、工事の総合仮設をまとめた施工計画書を作成し監督員に提出する。 ただし、工種別施工計画書についてはその都度提出してもよい。
	14. 工事記録	(ア)工事の全般的な経緯を記載した文書を、原則として毎週作成し監督員に提出する。 (イ)監督員が指示した事項又は監督員と協議した事項について記録し、監督員に提出する。 『管轄工事写真作成要領(電気・機械設備編)』及び『工事写真の撮り方(建設大臣官庁管轄部監修)』を参考にして作成する。
	⑭ 工事写真	● 提出する(部) ◎ 提出しない
⑮ 完成写真	次の図書を工事の完成引渡し時に監督員に提出する。	
⑯ 完成図・その他		
総合調整	18. 総合調整	総合調整を行ない、下記項目の測定結果を監督員に提出する。 ● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量
	⑰ 土工	(ア)埋め戻し土 ◎ 根切土のなかの良質土 ● 山砂の類() ● 真砂土() (イ)残土処分 ● 構外に搬出し適切に処理 ● 構内敷きならし ● 構内の指示する場所に堆積
埋設表示	⑱ 埋設表示	◎ 地中埋設標(頭部は金属製)を図示する箇所に設置する。 ◎ 埋設表示用テープを図示する箇所に埋設する。 水・ガス・電気等

21. コンクリート設計基準強度	※ Fo=180kgf/cm ² ● Fo=210kgf/cm ²	
22. 研り工事	既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンドカッタによる。	
23. 保温工事	(ア)※ 共通仕様書中の保温種別で、ロックウール保温材またはグラスウール保温材と並記されているものは、グラスウール保温材を適用する。(ただし、防火区画等部分については、ロックウール保温材とする。) (イ)● 共通仕様書中の屋内露出(● 機械室 ● 倉庫 ● 倉庫)の配管、ダクトの保温は、屋内露出(一般居室、廊下)に読みかえる。 (ウ)※ 暖房熱源機械室内の保温材で、共通仕様書中ポリスチレンフォーム保温材とあるものは、同じ施工種別のグラスウール保温材を使用する。 (エ)● 全熱交換機用の(● 給気ダクト ● 排気ダクト)は、グラスウール保温材で保温する。	
24. 鋼管類の防蝕措置	鋼管類をコンクリート内に配管する場合は、防蝕ビニールテープ1/2重ね2回巻きとする。 (ア)塩ビライニング鋼管及びポリ粉体鋼管に使用する継手は管端防食継手を使用する。 (イ)塩ビライニング鋼管及びポリ粉体鋼管の配管に取付けねじ込み式の弁には管端コアを備える。 (ア)電動機出力、燃料消費料等は、原則として図面に記載されている値以下とする。 (イ)機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。	
25. 管端防食継手		
26. 電気容量及び機器表示		
27. 耐震対策	耐震措置については、「建築設備耐震設計、施工指針」(建設省住宅局建築指導課監修1984年版)による。計算方法は原則として局震度法による。 ● 機器 ● 吊り及び支持	
28. 溶接配管の検査	非破壊検査の適用 ※無し ● 有り(● 放射線透過検査 ● 浸透深傷検査又は磁粉深傷検査)	
⑳ 他工事との取合	(ア)コンクリート壁、床及梁等における設備機器、-風道、配管等の箱入れ及び貫通スリーブ ※ 本工事 ● 別途工事 (イ)鉄筋コンクリートのスリーブ・箱入れの補強 ● 本工事 ※ 別途工事 (ウ)鉄骨造の開口及び補強 ● 本工事 ※ 別途工事 (エ)埋込形機器取付用の 天井、壁切込み部の下地補強 ● 本工事 ※ 別途工事 天井、壁の下地材・仕上材材の切込み ※ 本工事 ● 別途工事 (オ)機器付属の制御盤及び操作盤から機器までの配線 ※ 本工事 ● 別途工事 (カ)機器用コントロールスイッチ(空調機、給湯機等)の取付け及び配線 ● 本工事 ● 別途工事	
30. 工事、安全計画書等	建設工事公衆災害防止対策要綱に基づき、工事安全計画書・工事安全計画事後評価書を監督員に提出する。	
衛生器具設備	① 大便器	● 節水型 ◎ 標準型
	② 小便器	● 自動洗浄 ◎ 標準型
給水設備	③ 紙巻器	ステンレス鋼板製ワンタッチ形紙巻器
	4. 和風大便器の耐火処理	標準図(施工55)の ● ① ● ②
管	① 管	(ア)一般配管 ● SGP- VB ◎ SGP- PB ● VP ◎ HI- VP (イ)土間下配管 ● SGP- VD ● SGP- PD ● VP ◎ HI- VP (ウ)屋外埋設配管 ● SGP- VD ● SGP- PD ● VP ◎ HI- VP ◎ ポリエチレン管 (エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。
	② 井	※ 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。 ● JIS 5kgf/cm ² (高置水櫃以降の配管に使用する) ● JIS 10kgf/cm ² (公営水道に直結する配管に使用する) ◎ 公営水道事業者指定の止水栓又は弁 ● 買入れ ◎ 借用
排水設備	③ 量水器	● 買入れ ◎ 借用
	4. FRP製水櫃のマンホール	屋外に設置するFRP製水櫃のマンホール蓋は二重蓋(複合板)とする。
管	① 管	(ア)屋内汚水管 ◎ VP ● LP ● 排水用硬質塩ビライニング鋼管 (イ)屋内雑排水管 ◎ VP ● SGP(白) ● LP ● 排水用硬質塩ビライニング鋼管 (ウ)通気管 ● SGP(白) ● VP (エ)屋外排水管 ◎ VP ◎ VU ● HP(B形外圧管1種) ● 卵形管
	2. 漏水試験継手	3階以上にわたる排水管立て管に漏水試験継手を取付ける ● 取付けない
パイプシャフト内配管の保温	3. パイプシャフト内配管の保温	※ 施工する ● 施工しない
	4. 煙試験	※ 行なわなくてもよい ● 図示の系統のみ行なう

CHECK	CHECK	DRAWING	SCALE	DATE	H 7.11	東町一般公舎新築工事	NO.
						機械設備工事仕様書 1	M 1/5

消火設備

1. 管 (ア) 一般配管 ● SGP(白) ● STPG (イ) 土間下配管 ● SGP- VS ※ STPG- VS (ウ) 屋外埋設配管 ● SGP- VS ※ STPG- VS

2. 弁 ※ JIS 10kgf/cm²

3. 二酸化炭素消火の起動方式 ※ 手動 ● 自動手動切替式

4. 保温 (ア) 給水タンクの保温 ※ 施工しない ● 施工する (イ) 消火配管の保温は次による。 ● 屋内消火栓用 ※ 施工しない ● 施工する ● スプリンクラ用 ※ 施工しない ● 施工する ● 連結送水用 ※ 施工しない ● 施工する

給湯設備

① 給湯管 ● C- VA ● HT- VP ● SUS ● Cu(M)

2. 膨張管 ※ C- VA ● SGP(白)

3. 補給水管 ※ C- VA ● SGP(白)

4. 弁 ● JIS 5kgf/cm² ● JIS 10kgf/cm²

⑤ コンクリート内埋設管の保温 ※ 耐熱保温チューブ

し尿浄化設備

1. 処理種別・方式 ● 単独処理 (● 分離接触ばっ気方式 ● 分離ばっ気方式) ● 小規模合併処理 (● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気濾床接触ばっ気方式) ● 合併処理 (● 回転板接触方式 ● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式)

2. 処理能力 処理対象人員 ___人 ● 処理水量 ___m³/d

3. 放流水の水質 BOD ● 90mg/l 以下 ● 60mg/l 以下 ● mg/l 以下

4. 排水方式 ※ 自然流下 ● ポンプ排水

5. マンホールふた ※ 製造者標準仕様(ロック式) ● MHA型(ボルト式)

6. 埋戻し土 ● 砂 ● 根切土の中の良質土

7. 消毒薬 3ヶ月相当分を納入する。

ガス設備

① 管 (ア) 一般配管 ※ SGP(白) (イ) 土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 (ウ) 屋外埋設配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管

② ガス元メータ ※ 別途(取付共)

3. ガス子メータ ※ 別途(取付共) ● 買入れ

4. ポンベ転倒防止 施工方法は標準図 ● 施工要領(a) ● 施工要領(b) ● 図示による

⑤ ガス漏れ警報器 ● 不要 ● 要(別途)

6. 絶縁継手 ● 不要 ● 要(取付位置は図示による)

⑦ その他 都市ガスはガス供給事業者の供給規定による。

空調設備

1. 設計用温湿度条件 (温湿度目標値)

	外気条件		室内			
	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)
夏季	℃	%	26.0℃	50%	℃	%
冬季	℃	%	22.0℃	40%	℃	%

2. 冷却水・温水・冷温水管 ※ SGP(白)

3. 冷却水管 ● SGP(白) ● SGP- VA

4. 膨張・空気抜・補給水管 ※ SGP(白) ●

5. 蒸気給気管 ※ SGP(黒)

6. 蒸気還水管 ※ SGP(黒) ● スケジュール鋼管 ● SUS

7. 油・油用通気管 (ア)一般配管 ※ SGP(黒) (イ)土中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管

8. 冷媒管 ● 断熱材被覆鋼管 ● 断熱材被覆鋼管(製造者標準品)

9. 給水管 ※ 給水設備の項による ●

10. 排水管 ※ SGP(白) ● VP

11. 冷温水管の空気抜き 空気溜りを生ずるとと思われる配管箇所には、必要に応じて、操作の容易な位置に空気抜き弁装置を設ける。(● 自動 ● 手動)

12. 弁類 ※ JIS 5K ● JIS 10K

13. 温度計 機器付属以外の温度計は ※ 円形のバイメタル式(100φ以上、保護管付) ● ガラス製棒状温度計 ● プルドン管式

14. 圧力計・連成計 取付箇所は仕様書、標準図によるほか図示した箇所に取付ける。

15. 瞬間流量及び流量測定口 形式はビトー管式(コック付)とし、下記の箇所に取付ける。 ● 冷凍機の冷水・冷却出入口 ● ボイラー又は熱交換器の温水出口 ● 冷温水ヘッダーの各送り管 ● ユニット形空調機の冷温水入口 ● 着脱式 個

16. ファンコイルユニット (ア) ※ 流量調整弁 ● 定流量弁 (● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。

(イ) カセット形の風量分配ダクトは、自己消火性のポリスチレンフォームでもよい。

17. 吹出口・吸込口 わく及びスリットの材質は ● 鋼板製 ※ アルミニウム製 (● 着色する ● 鋼板製)

18. ダクト (ア) 低速ダクトとする。 (イ) 矩形ダクトは ※ アングル工法 ● コーナーボルト工法

(ウ) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とする。

19. 防煙・防火ダンパー (ア) 防煙・防火ダンパーの記号は下記の通りとする。

FD	防火ダンパー	FVD	風量調節兼防火ダンパー
SD	防煙ダンパー	SVD	風量調節兼防煙ダンパー
SFD	防煙防火ダンパー	SFVD	風量調節兼防煙防火ダンパー
PD	ピストンダンパー	PFD	ピストンダンパー(ヒューズ付)

(イ) 防煙ダンパーは ※ 電気式 ● 空気式

(ウ) ダンパーの復帰機構は ※ 遠隔式 ● 手元式

(エ) 電気式防煙ダンパーの動作電圧、電流はDC24V・0.6A以下とする。

20. 風量測定口 (ア) 取付位置は図示による。 (イ) 材質はアルミニウム製でもよい。

21. チャンバー等 (ア) 吹出口には、下記の接続チャンパーを設ける。線状吹出口は、(長さ+100)×300×300H シーディングディフューザーの接続チャンパーは、標準図による。 (イ) 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合には原則として排水を設ける。 (ア) 吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類に内貼する。 (イ) グラスウール保温板(2号、40K) ※ 25mm厚 ● 50mm厚 (ウ) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 (エ) アネモ形吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×550とする。

23. 定風量ユニット ● メガニカル形 ● 風速センサー形

24. 煙道 (ア) 材質及び厚さ ● SS41(※ 3.2mm ● 4.5mm) ● SUS(※ 1.5mm ● 2.0mm) (イ) 煤煙濃度計 ● 取付ける ● 取付けない ● 取付座を付ける (ウ) 煤じん量測定口(80φ×2)を ※ 取付ける ● 取付けない

油面計は ※ ゲージ式(側圧計)とする。

25. オイルサービスタンク (ア) 据付け方法は標準図 ● 施工24(タンク室有り) ※ 施工25(タンク無し)

(イ) タンクの保護被覆は ※ アスファルト ● エポキシ樹脂

(ウ) 基礎杭は ※ 不要 ● 要(但し杭は ※ 別途工事 ● 本工事)

(エ) タンクローリー用アース端子を設ける。

26. 地下オイルタンク 共通仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管等の吊り、及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。

27. 防振吊り及び支持金物 送風機の防振基礎 防振材 (● ゴム ● 金属パネ)

28. 防振基礎

29. エアフィルターの予備品 (ア) 空気調和機又はフィルターチャンパー装置装着枚数の50%を予備品(特付)として納める。ただし、自動巻取り形の場合は100%とする。 (イ) ファンコイルユニットは総枚数の約30%に当たるフィルターを予備品(特付)として納める。取付高さは ※ 1300mm ● _____mm

30. 温度調節器等 ● ステンレス製 ● アルミニウム製 ◎ 図示、

22. 消音内貼り

23. 定風量ユニット

24. 煙道

25. オイルサービスタンク

26. 地下オイルタンク

27. 防振吊り及び支持金物

28. 防振基礎

29. エアフィルターの予備品

30. 温度調節器等

⑩ 排気用屋外フード

排煙設備

1. 一般事項 空調・冷暖房・換気設備の当該項目を適用する。

2. ダクト 高速ダクトとする。 ● 亜鉛鉄板製 ● 鋼板製

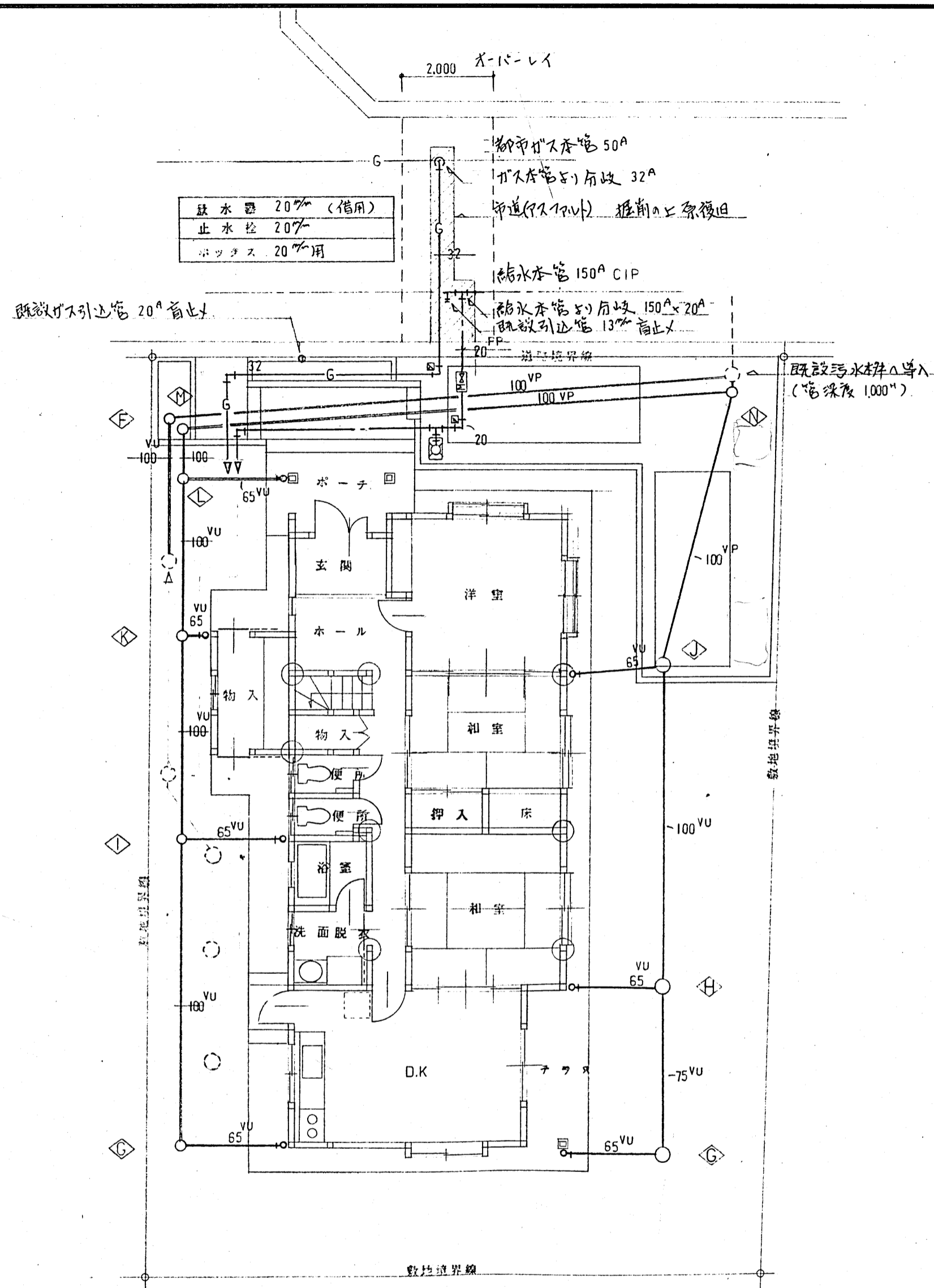
3. 排煙送風機 ※ 排煙用遠心送風機 ● 排煙用軸流送風機 ● 斜流送風機

4. 排煙口 (ア) 形状 ● 可動羽根 ● 可動パネル (イ) 開放装置は ● 手動 ● 手動及び遠隔操作の可能なもの

〔Ⅲ〕機材

(アイエウ順)
設計図書に製品番号は、特定の製造者の製品を限定しない。
BL製品については、下記の記載の製造者の他、BL認定品製造者とする。

品名	製造業者
1. 管 継手	共通仕様書に規定する規格品
2. 一般用弁 栓	共通仕様書に規定する規格品
3. 伸縮継手	トーゼン産業 日本ペロー工業 日東製作所 フシマン ペン 本山製作所 ヨシタケ製作所
4. 可撓継手(ステンレス製)	ゼンシン トーフレ 日本ペロー工業 本山製作所 ヨシタケ製作所
5. 防振継手	トーゼン産業 東洋ゴム トーフレ 日本碍子
6. 減圧弁・温度調整弁・安全弁等	日本ペロー フシマン ペン 本山製作所 ヨシタケ製作所
7. 衛生陶器・付属品・水栓類	JISマーク表示品 ただしJISにないものについては INAX 東陶機器 ジャニス工業
8. ポンプ	(1) 渦巻ポンプ・多段ポンプ 荏原製作所 川本製作所 久保田鉄工 テラルキョクトウ 日立製作所 (2) 汚水・雑排水・汚物用水中ポンプ 荏原製作所 川本製作所 新明和工業 正和水中ポンプ 鶴見製作所 テラルキョクトウ 日立製作所
9. FRP製水槽	積水プラントシステム 日立化成 プリジストン 三菱樹脂
10. 消火栓	(1) 消火栓 日本消防設備安全センター認定品 (2) スプリンクラー・泡消火 ニッタン 日本ドライケミカル 能美防災 ホーチキ (3) ハロゲン化物消火システム 川崎防炎工業 ニッタン 日本ドライケミカル 能美防災工業 ホーチキ
11. 排水金具	小島製作所-ガイドレ 二宮産業 長谷川鋳工
12. マンホール蓋	カネソウ 小島製作所 ガイドレ 中部工機 二宮産業 長谷川鋳工
13. ガス器具	(1) カラン・コック類 液化石油ガス法に基づく検合格品 (2) 湯沸器類 日本ガス機器検査協会の認定証が添付されたもの インシナー 大東三連 明星金属
14. 焼却炉	
15. 鋼製ボイラー	(1) 蒸気及び温水ボイラー 石川島播磨 川重冷熱 昭和鉄工 タクマ 巴商会 前田鉄工 (2) 簡易温水ボイラー 愛知電機 温水工業 久保田鉄工 三洋電機 ガイキン ネボン 日立製作所 三菱電機 川重冷熱 昭和鉄工 前田鉄工
16. 冷凍機等	(3) 鋳鉄製ボイラー 川重冷熱 昭和鉄工 前田鉄工
17. 冷却塔	(1) チリングユニット 三洋電機 ガイキン工業 東芝 東洋キャリア 日立製作所 荏原製作所 パッケージ形空調機 松下電器 三菱重工 三菱電機 (3) 直置き吸引冷温水機 荏原製作所 川重冷熱工業 三洋電機 日立製作所 三菱重工 矢崎総業 (4) 小型直置き吸引冷温水機 荏原製作所 川重冷熱工業 三洋電機 日立製作所 矢崎総業
18. 空気調和機	荏原信和 空研工業 日本スピンドル 日本BAC 日立冷熱 三菱樹脂 上記の他に冷熱機等の製造者
19. 空気清浄装置	(1) ユニット型空気調和機 木村工機 クボタトレン 昭和鉄工 新晃工業 ガイキン工業 東洋キャリア 東洋製作所 松下電器 三菱重工 三菱電機 (2) ファンコイルユニット 木村工機 三洋電機 昭和鉄工 新晃工業 ガイキン工業 東洋キャリア 松下電器 三菱電機 三菱重工
20. 全熱交換器	(1) 回転形全熱交換器 エービーエコノベント テラルキョクトウ 東洋製作所 日鉄工業 (2) 静止形全熱交換器 三洋電機 ガイキン工業 日立製作所 松下電器 三菱電機
21. 送風機	荏原製作所 テラルキョクトウ 日立製作所 松下電器 ミツワ
22. 吹出口・吸込口・ダンパー	空研工業 新晃工業 不二工 丸光産業
23. 変風量ユニット・定風量ユニット	エアコンスター クボタトレン 新晃工業 東プレ 日本ミツコ
24. 製缶類	島倉鉄工 ダイネット 中国金属 山武ハネウエル 森松工業 家森鉄工
25. 自動制御機器(空調用)	トキメックランディスギア 山武ハネウエル 横河ジョンソンコントロールズ



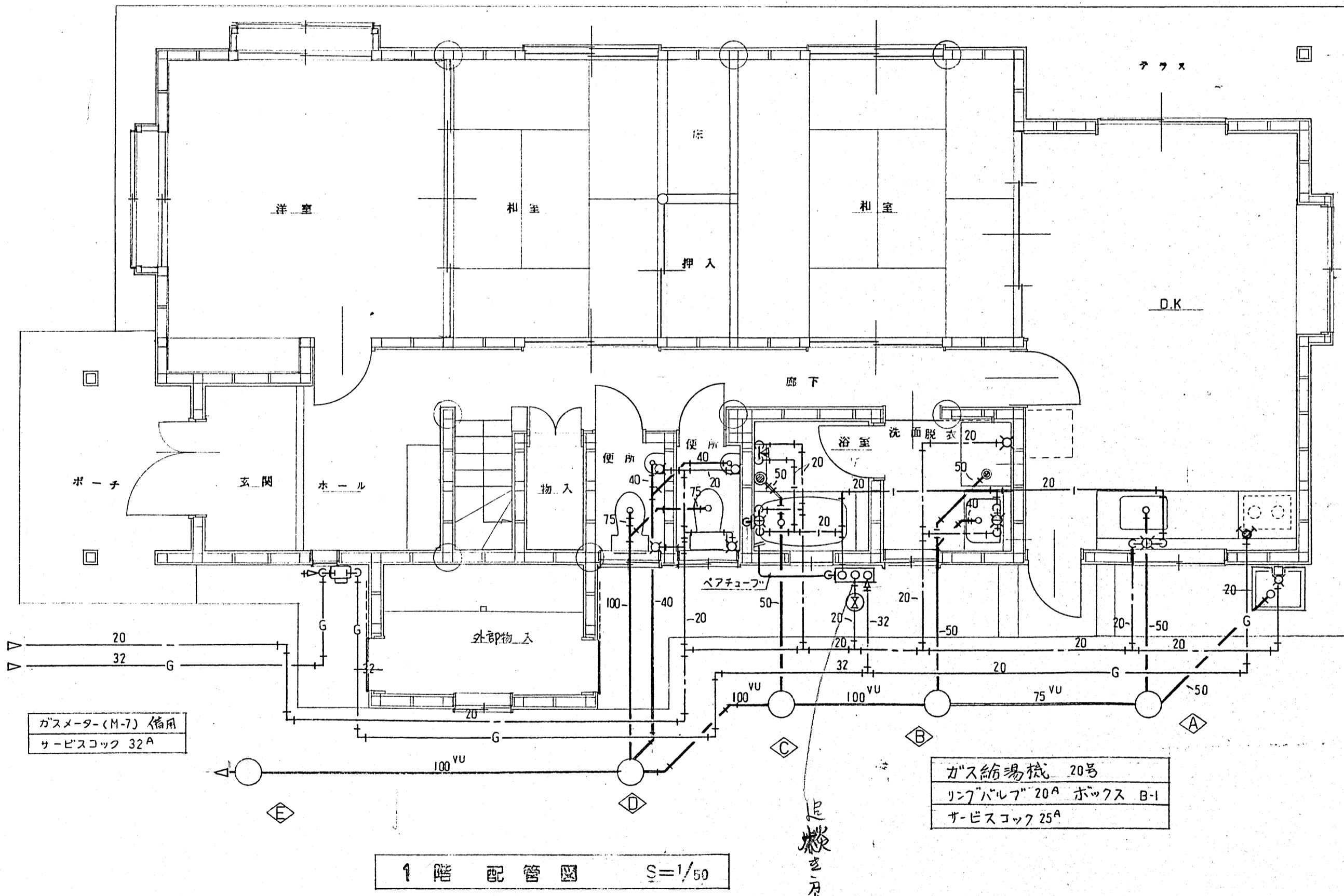
屋外配管図 S=1/100

名称	(参考品番)	仕様 附属品	数量
洋風便器	C770	S770B TS770SA TC 262N T53S75 TS 116 MK	2
埋込手洗器	L593	TL593P	2
湯水混合シャワー	TM247CS	サーモスタット 自動止水付	1
湯水混合栓	TK 231	シングルレバー	1
タオル掛け	TS 113P 1		2
洗面化粧台	LDL602FJ	化粧鏡 LMF601H	1
ホーム水栓	T200S	13 ^A	2
ビニール水栓柱		13 ^A x 1,500 ^H	1
地下式散水栓	T27	13 ^A ボックス B3-B	1
ガーデンパン	450-D	樹脂製 460 x 410 x 150 ^H コム栓(ウザリ付)	1
排水ユニット	YTB600S		1
ガスコック		双口 15 ^A ヒューズ 粗込型	1
ガス給湯機	RGH20CF-1	屋外壁掛タイプ 20号, 台所用リモコン浴室リモコン付属 コード8m 配管カバー 65 ^H タイプ	1
洗濯機パン	PW30AC	50 ^A 900 x 640	1
浴槽		ステンレス 1200 BL型 (埋込みタイプ)	1

記号	名称	仕様	管径	高さ	数量
A	汚水枳	300 ^中	300 ^H	楕円枳	1
B	//	//	330	//	1
C	//	//	470	//	1
D	//	//	500	//	1
E	//	//	550	//	1
F	小口径枳	100-150 (エルボ)	600		1
G	雨水枳	300 ^中	300	//	2
H	//	//	340	//	1
I	//	//	370	//	1
J	//	//	400	//	1
K	//	//	420	//	1
L	//	//	460	//	1
M	小口径枳	100-150 (エルボ)	600		1
N	//	100-150 (テース)	950		1

小口径マス 7ヶ所は白みかびとする

7 III-400
A・B・C 3/5



以前屋外配管図参照

ガスメーター(M-7) 備用
サービスコック 32A

ガス給湯機 20号
リンパルプ 20A ボックス B-1
サービスコック 25A

1階配管図 S=1/50

足機は別紙にて

特記事項	
保温仕様は保熱コートとする	
給水 屋外	φ 20
給水 屋内	φ 10
給湯 屋外共	φ 20

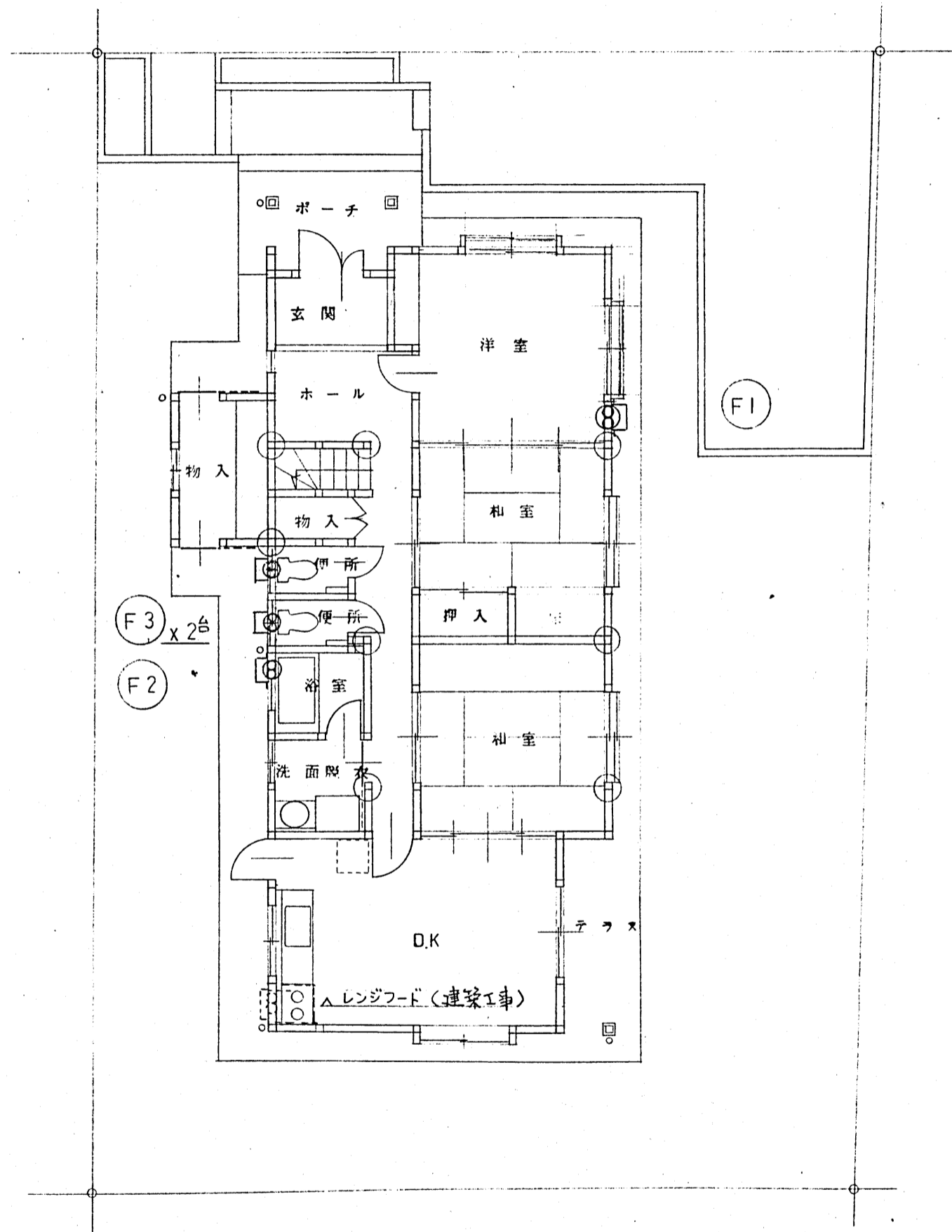
7	111-400
A・D・M	4/5



YOKOGAWA ARCHITECT OFFICE
 有限会社 横川設計工房
 一級建築士188526号
 横川 誠

CHECK	CHECK	DRAWING	SCALE	DATE
			S=1/50	H7.11

東町一般公舎新築工事		NO.
衛生設備 配管図		M 4/5



1階平面図 S=1/100

機器表			
記号	名称	仕様	数量
F 1	換気扇	250 ^φ × 690 ^{mm} × 22 ^W 格子タイプ、型式シャッター 木枠、屋外フード (アイビー製) 250 ^φ 用	1
F 2	浴室用換気扇	130 ^φ × 125 ^{mm} × 4.3 ^W 連結端子接続 木枠、屋外フード (プラスチック製) 205 × 160 ^{mm}	1
F 3	パイプファン	150 ^φ × 145 ^{mm} × 3.3 ^W 連結端子接続、屋外フード (プラスチック製) シャッター付	2

7 III-400
A.E. 5/5



YOKOGAWA ARCHITECT OFFICE 横川設計工房 一級建築士188526号 横川 誠

CHECK	CHECK	DRAWING	SCALE	DATE
			S=1/100	H7.11

東町一般公舎新築工事
換気設備 平面図 機器表

NO. M 5/5